

イベント & コンベンションカレンダー

イベント	コンベンション
4月 10日(日) 第32回 弘前城ミス桜コンテスト	弘前文化センター
15日(金)~16日(土) 日本区域麻酔学会第3回学術集会	[ホテルニューキャッスル/全国]
21日(木)~22日(金) 無線通信システム研究会	[星と森のロマンピア/全国40]
23日(土)~5月5日(木祝) 弘前さくらまつり	弘前公園
24日(日) 第65回 青森県観桜俳句大会	弘前文化センター
28日(木)~5月上旬 岩木山山岳春スキー	岩木スカイライン
5月 3日(火祝)~4日(水祝) 2016 第35回 津軽三味線世界大会	弘前市民会館
5日(木祝) 2016桜花グランプリ争奪「第31回津軽五大民謡全国大会」	弘前市民会館
6日(金)~15日(日) 弘前りんご花まつり	弘前市りんご公園
14日(土)~15日(日) 第18回津軽路ロマン国際ツアーデーマーチ	弘前市内
16日(月)~17日(火) 日中韓IMTワーキンググループ	[ホテルナクアシティ弘前/国際30]
21日(土) 日本比較文化学会第38回大会2016年度日本比較文化学会国際学術大会	[弘前学院大学/国際70]
21日(土) 第24回全日本りんご追分コンクール	弘前市民会館
21日(土)~22日(日) 日本生化学会東北支部第82回例会	[弘前大学医学部基礎大講堂/東北100]
28日(土)~29日(日) 表千家同門会東北六県献茶会	[ナクアシティ弘前、禅林街/全国600]
28日(土)~29日(日) 津軽森2016	岩木山桜林公園
28日(土)、29日(日)他 ひろちゃんで行く 城下町弘前めぐりの旅	弘前市内
5月下旬 山ROCK	岩木山観光協会・駐車場
6月 1日(水)~3日(金) 第57回日本神経病理学会総会学術研究会	[ホテルニューキャッスル/全国500]
4日(土)~5日(日) 日本土壤動物学会	[弘前大学/全国100]
4日(土)~5日(日) 比較経済体制学会全国大会	[弘前大学/全国80]
11日(土) 第30回東北救急医学会総会・学術集会	[文化センター、ホテルニューキャッスル/東北700]
12日(日) 第4回弘前城リレーマラソン	弘前公園 レクリエーション広場
18日(土) 第11回古都ひろさき花火のつどい	岩木川河川敷運動公園
6月中旬 金魚ねぶた作り方講習会	弘前市立観光館
6月中旬 チャレンジヒルクライム岩木山2016	獄温泉・岩木スカイライン
23日(木)~24日(金) 第36回日本静脈学会総会	[ナクアシティ弘前/全国600]
26日(日) 第17回よさこい津軽	土手町通り及び3.3.2号線の一部
30日(木)~7月1日(金) 日本保健物理学会第49回研究発表会	[文化センター/全国280]

※イベント日程等は変更になる場合がございます。

※この他のイベント情報は当協会ホームページをご参照下さい。 <http://www.hirosaki-kanko.or.jp>

弘前市～桜の名所～その5

「城北桜つつみ公園」～遅咲きの品種が多い桜の名所～

1988年(昭和63年)、旧建設省河川局で河川の洪水防止を目的とした「桜堤モデル事業」の一環として全国で最も早く開園した城北桜つつみ公園。岩木川沿いにあり、遊歩道を散策しながら、東屋で休憩することができ、ゆっくり桜の観賞が楽しめます。ソメイヨシノを除く34品種、226本の桜が植栽されていて、遅咲きの品種が多いのが特徴です。



イベント ヒヤクアツク 弘前りんご花まつり


弘前の春は桜だけではなく! 弘前市りんご公園では今年も「弘前りんご花まつり」を開催します。可憐な白い花は、桜とはまた違った趣を感じられます。りんごを楽しむ体験メニュー、美味しいものも盛りだくさん! 残雪の岩木山を背景に、白く咲き誇るりんごの花をお楽しみください!

- 会期: 平成28年5月6日(金)~15日(日)
- 会場・お問合せ 弘前市りんご公園・TEL36-7439

個人ぼんぼり募集中

さくらまつりの雰囲気を一層盛り上げてくれる「ぼんぼり」にお子様の写真や、ご結婚記念の写真を掲載しませんか?

- 本数: 60本 (60本に達した時点で募集終了いたします)
- 掲載場所: 「弘前公園内の 西濠桜のトンネル」
- 価格: 12,960円(税込)
- 募集期限: 平成28年3月30日(水)
- 申込み・お問合せ 事務局 観光振興部まで



Thank you 弘前観光コンベンション協会正会員 弘前感交劇場サポーターズクラブさくら会員 会員専用メルマガ登録募集

会員特典として、月1回会員専用メルマガの配信を行っております。また、協会WEBサイトでは、会員紹介ページ、バナー広告(有料)もごさいます。

- 申込み・お問合せ: 事務局 観光振興部まで <http://www.hirosaki-kanko.or.jp/web/edit.html?id=about>

弘前感交劇場

HAVE A WONDERFUL FEELING WITH YOU

ステージだより

HIROSAKI STAGE NEWS

Vol.34 春号
2016. 4. 1

発行 公益社団法人弘前観光コンベンション協会

〒036-8588 弘前市下白銀町2-1
TEL.0172-35-3131 FAX.0172-35-3132
URL <http://www.hirosaki-kanko.or.jp/>



弘前が舞台のTVアニメ「ふらいんぐういっち」放送スタート

アニメ「ふらいんぐういっち」プロデューサー 奈良 駿介

アニメ「ふらいんぐういっち」は、主人公の木幡真琴が一人前の魔女を目指すために、高校入学に合わせて故郷の横浜から親戚の倉本家のある弘前へ引っ越してくるところからお話が始まります。倉本家で同い年の「圭」とその妹「千夏」と再会し、高校では「なお」という新しい友達と出会い、毎日を過ごしていく真琴。真琴は、とにかく弘前の色々な場所を散歩し、空を飛び、迷子になります。(笑) 真琴の過ごす街、見ている景色を描くために制作スタッフで弘前に訪れたのは、昨年夏のことでした。弘前に訪れるのは、初めてだったスタッフ一同。弘前城公園の広さに驚きつつ、街でいくつも見かける洋館にも心を惹かれていました。案内していただいたフィルムコミッションの方には、洋館が多い理由、弘前城公園の一年間の様子、弘前の街の歴史など様々なことをお話いただきました。お話を受けて、スタッフの間では、原作者である石塚千尋先生が弘前を「魔女の住む街」としたのにも納得できるなどと話

2016年4月より日本テレビ、青森放送ほかにて放送開始!

をしていたことを覚えています。弘前に訪れて1日目の夜、まず郷土料理を食べようと思い、一軒の居酒屋に伺いました。「いがめんち」、「貝焼き味噌」もおいしくいただきましたが、何よりも感じたのは、お魚、お米等々何を食べてもおいしいということ。いつの間にか注文が増え、帰るときには少し苦しいくらいにお腹がいっぱいになっていました。真琴は、「魔女は、自然が多く、資源豊かな場所を好む」という言葉を口にしますが、まさか食事からその言葉を体感するとは思っていませんでした。食事の帰り、近くのねぶた小屋から楽しそうな声が聞こえてきたので覗いてみると大きく迫力のあるねぶたの前で地域の方が宴会を開かれていました。少しだけ立ち寄らせていただいたところ、ねぶた小屋の中を見せていただいただけでなく、ねぶたに関して細かくご説明をしていただきました。立ち寄った私達を優しく迎え入れていただき、本当に温かい街だなと思いました。私達が弘前に伺ったのは、短い期間でしたが、弘前でお会いした方々には感謝の気持ちでいっぱいです。アニメ「ふらいんぐういっち」では、魅力的な街の景観だけでなく、温かな空気感をフィルムに落とし込めるように尽力中です。弘前の街と同じように皆さんに愛していただけるようにがんばりますので、よろしくお祈りします。

弘前さくらまつり

会期：平成28年4月23日(土)～5月5日(木・祝)



花筏

昨年行われた弘前城天守曳屋工事に、天守が新しい位置に移動して初めてのさくらまつりとなります。

「今しか見れない光景を絶好のアングルから」と、昨年12月に設置された本丸展望台からは、天気が良ければ津軽富士「岩木山」を背景に「弘前城天守」と「本丸のヤエベニシダレ」のコラボレーションをご覧いただけます。

また、今年のさくらまつりでは、実証実験として「弘前公園中濠船事業」が行われます。西濠で行っている「貸しポート」を中濠で貸し出し、中濠から桜を鑑賞していただき、事業化へ向けたアンケート調査を実施します。



曳屋工事後の本丸(イメージ)

インバウンド情報

全国的に外国からの観光客が増加し、その流れは地方に広がってきており、最近では、弘前市内でも外国人観光客の方々を数多く見かけるようになりました。

県によると、県内宿泊者数(延べ人数)が5,022,800人(前年比11.3%)と初めて500万人泊を超え、このうち、外国人宿泊者数(延べ人数)も年間115,990人(前年比56.7%増)で過去最高となりました。弘前市でも、速報値で市内宿泊者数(延べ人数)が608,513人(前年比6.6%増)のうち外国人宿泊者数(延べ人数)も9,035人(前年比45.5%増)となっています。その大半が東南アジアや欧米からとなっており、内訳は、台湾から2,317人、中国から1,396人、アメリカから1,173人、その他の国となっています。

増加傾向にある外国人観光客受け入れに対し、各種コミュニケーションを図るためのツールも必須となっており、現在、飲食店向け・宿泊施設向け・タクシーの従業員向けのコミュニケーションシートや市内を周遊する際に活用できるパンフレットを作成中です。詳しくは、次号で紹介します。



観光施設 入場券付 アップルパイクーポンが 使いやすくなって再登場!

昨年初めて発行した、観光施設入場券付「まるごとひろさきアップルパイクーポン」がリニューアルして5月から販売開始されます。アップルパイに使える100円券が7枚から9枚に増量。さらに、100円バスやタクシー、サイクルネットの交通機関やお土産のお買い物にも使えるようになります。弘前公園や藤田記念庭園、津軽藩ねぶた村の入場券も付いてとってもお得です。

- ◆販売価格：1,500円(税込)
- ◆設定期間：平成28年5月6日～11月23日
- ◆有効期間：購入から30日間
- ◆販売場所：弘前市立観光館、弘前市観光案内所、弘前市まちなか情報センター、市内主な宿泊施設など

発行：株式会社観光販売システムズ
企画：(公社)弘前観光コンベンション協会



※クーポンイメージ

会員のお店紹介

1 (有) くまばん

「鋳金で地域に提供する幸と笑顔。」を合い言葉に3万台を超える鋳金実績のもと、みんなが笑顔で幸せな人生を歩める結果をつくる!を目指しています。弊社では品質をお客様が選べます。お客様自身がお得だと思っていただけるように説明し選んで頂きます。独自のアイデア工法や商品を準備しておりますので、お気軽にお問合せください。

- 弘前市東城北1丁目2-1
- TEL 0172(32)1997
- 営業時間
工場稼働 8:00～17:00
フロント 8:30～18:00
- 定休日/日・祝
(夏季・冬季休暇有)
- HP <http://www.kumaban.co.jp/>



2 津軽岩木スカイライン

昭和40年8月25日に開通した「津軽岩木スカイライン」は、麓から8合目までを結ぶ全長9.8km、その間に69のカーブがあります。終点に近づくに従い日本海・津軽半島を一望できる眺めは雄大の一言に尽きます。駐車場から9合目の鳥海山までリフトがあり、山頂まで40分ほどのヒルクライミングを楽しむことができます。今年の営業は4月28日～11月13日です。

- 弘前市常盤野字黒森56-2
- TEL 0172(83)2314
- FAX 0172(83)2656
- 営業時間
自動車道 8:00～17:00
(最終入場:16:00)
リフト 上り 9:00～16:00
下り 9:00～16:20
- HP <http://www.iwaki-skyline.jp>



3 (株) 弘前事務機器商会

当社は創業昭和41年、今年で50周年を迎えます。「すべてのオフィスに最高の技術と誠意で奉仕する」をモットーに、お客様の要望に適したスチール家具・OA機器・文具を提供できるように努めています。店舗では、豊富な品揃えと丁寧な対応を心がけております。お気軽にご来店ください。お客様のご来店をスタッフ一同心よりお待ちしております。

- 弘前市城東中央3丁目5-10
- TEL 0172(27)7111
- FAX 0172(28)0684
- HP <http://www.hirojimu.co.jp>



4 やまと印刷(株)

弊社では印刷物と動画のAR等を用い、様々なメディアでのご提案をさせて頂いております。また、印刷部門では、お客様のご要望を受け、昨年速乾のUV印刷機を導入させて頂きました。地方でも早く、高品質な製品のお届けを追求し、弘前を愛する印刷屋として皆様のお力になれば幸いです。

- 【本社】
- 弘前市神田4丁目4-5
- TEL 0172(34)4111
- FAX 0172(36)3299
- 【東京営業所】
- Printing lab. SEN
- 東京都文京区小石川4丁目10-10
- HP <http://www.yamatop.jp>



活動レポート

第40回弘前城雪燈籠まつり報告

平成28年2月11日～14日にかけて、弘前城雪燈籠まつりが開催されました。まつり後半はあまり天候には恵まれなかったものの、弘前城本丸曳屋終了後、初の雪燈籠まつりということや、幅140mを超える石垣に映像を投影した「弘前城石垣マルチ・プロジェクション」などの効果もあって、昨年より開催日数が1日少ないにも関わらず、昨年比1万人増の23万人の入出でにぎわいました。



雪燈籠まつり(石垣マルチプロジェクション)



雪燈籠まつり(冬花火)

インバウンド観光先進地「昇龍道・ドラゴンルート」視察研修報告

昨今急増する外国人旅行者に対応するためインバウンド観光の先進的ルート「昇龍道(ドラゴンルート)」の視察研修に当協会の会長他役員の方々が昨年12月に参加いたしました。名古屋市～高山市へと移動し、最終日に白川郷へ抜けるルートでしたが、高山市を訪問した際には高山市役所、飛騨・高山観光コンベンション協会の方々とインバウンドに対する誘客戦略や、多言語パンフ・免税店等の受入環境の整備について意見交換会も開催しました。



インバウンド意見交換会



インバウンド視察

シリーズ「お城が動く!」～曳屋完了後の様子～

弘前城本丸石垣修理、天守曳屋という世紀の事業の実施にあたり、第40回目を迎えた今年の弘前城雪燈籠まつりでは、高さ10m、幅140mを超える本丸東側の石垣に、弘前市のこれまでの100年をマルチ・プロジェクションで投影しました。内濠一帯に照明演出も行われ、日本最大級のスケールで弘前市の魅力を表現しました。

4月より、天守を移設先で一般公開いたします。公開期間は、4月1日から11月23日までです。本丸には、移動した天守を見学するためのステージも設置しております。今年のさくらまつりでは、岩木山を背景に、満開の桜の中にそびえ立つ天守の光景をお楽しみ下さい。



弘前城天守(H27.10.27現在)